

---

# 意味がわかると怖い話      秘密基地の思い出

ニブルス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

意味がわかると怖い話      秘密基地の思い出

### 【Nコード】

N96480

### 【作者名】

ニブルス

### 【あらすじ】

意味がわかると怖い話です。      隠された意味を推理して、恐怖を感じて下さい。

私は今、病院にいる、といっても自分の体がどこか悪いわけではない。

幼稚園からの幼馴染のKが大病と闘っていて、私はKのお見舞いに来たのだ。

私とKはいつも一緒に遊んでいた、もう20年以上も前になるのか・  
・・。

よく一緒に秘密基地ゴッコなんかしたもんだ。

近所の廃工場なんか見つけては大人に内緒で入り込んで仲間数人と勝手に基地つぼくしてたよな・・・。

廃タイヤを積んだりさ、当時流行っていたゲームに影響されて段ボールで敵に見立てた「モンスター」なんかも作っていたな。

スライムとか（笑）よくぶったたいて遊んでいたよなあ。 剣とかの武器を作ったり、Kなんか天井を引っぺがして

「サラマンダーの皮の盾」とか、チェーンを見つけては「勇者の鎖鎌」なんてガキっぽいことしていたよな（笑）

・・・・あの頃が俺人生の中で一番楽しかったよ。

なあKよ、死ぬな。お前にはかわいい奥さんと生まれたばかりのかわいい娘がいるじゃないか！

そんなやつれた顔で俺を見るなよ。まずい・・・涙がこぼれそうだ。

俺は耐えきれなくなって病室からでて気を紛らわすために煙草を吸いに行った。

・・・最近なんか煙草がうまくねえんだよな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9648o/>

---

意味がわかると怖い話      秘密基地の思い出

2010年11月17日07時27分発行